# 香美市香北町 森と水の物語

草木が水を吸うように、私たち人も、動物も同じ生命を天から授けられ
同じように天から授けられた水を飲むことで生きることができる。
生きていくうえで もっとも大切なもののひとつが水。
その水をたくわえ、育み、みがくのが森。
天から授かりおりた水の子どもが、豊かな森の土にしみ込んで、ある日
一滴のしずくとなり、谷川を下り、あるところでは泉となってこんこんと
わき出して、はるかに長い水の旅をはじめる。

植付けた苗木は簡単には成長することができない。
現代、もっとも深刻なのが鹿獣による被害だ。
植えてから伐採できるまで何十年ものあいだ
愛情をこめて手入れを続けなければ立派な
山にはならない。
植付、育成、伐採、流通、加工の長い
過程の中、たくさんの人々が関わり
時間と労力をかけて林業は営われ
ている。

昔は山から伐り出された
材木は川岸まではこび
筏に組おかその材流した。
筏はカヅラで一間(1.8m)位
に組み、10～15程つなぎ
合わせて、川の石にかからぬ
ように上手にあやつって川を
下った。

分水嶺 物部川水系と 高鷲川水系を 分ける稜線

広大な森林を守り維持管理することが自然豊かな河川を守り環境を保全することにつながる。森林所有者の高齢化や不在村化、獣害問題や木材価格などなど林業をとりまく情勢は厳しいが、山を守り続ける人たちが頑張っている。

茨ノ森

鉢ノ森

香北の森林率は86%。

落ち葉や落枝、動物の遺体などが土壌生物やキノコなどによって分解され土に還る。
わずか1cmの腐葉土ができるのに100年の時間がかかるといわれている。
腐葉土からにじみ出る養分や無数の穴がスポンジの役目となり、水の浄化や保水の役割をはたす。

森の中に雨が降る。
その雨を林内雨と呼ぶ。
雨は幹を伝い樹弊流となって森の土にしみこんでゆく。
霧が葉っぱにたまって森の中に降る雨は樹雨(至露)。
数ある雨の中でもっとも
静かな雨だ。

物部川水系の豊富な水は流域にある35ヶ所の発電所で電力を供給している。
五王堂、川口、仙頭
永瀬、吉野、杉田

目には見えにくい土の中の微生物やキノコなどの菌、バクテリアなど土壌生物は、森の中の生命の輪廻をつかさどる役割をになっている

迎るとは天皇の迎という意味がある

白ノ御門子

菜の花畑

有瀬西堤

五百蔵

大宮小

大御九

菲生野

川上橋

橋川野

萩野

明戸峠

萩野川

岩改

アンパンマンミュージアム

土野

ここから見える物部川の源流
白髮山はピラミダルで美しい

朴ノ木

吉野ダム

永野

根須

白石

蔵野

左谷相と根須の境は
峠いになり、164号
野中兼山が越して
明らかとなる

天王森 キリシタン伝説

物部川

白髮山や三嶺の物部町の四国山地を源に香美市を貫流し、香南市、南国市を経て太平洋へ注ぐ一級河川。
ゆったりした流れは流域の人々の命と暮らしを支え、独自の文化や歴史を育み、地域の産業や経済を発展させてきた。
国交省の資料では白髮山を源流とする槙山川を物部川と定義して幹川71km、支川219kmの290kmにおよぶ総延長となっている。

陸上から海に流出したプラスチックごみが魚や鳥やあらゆる海洋生物の生態系に大変な悪影響をひきおこしている。
マイクロプラスチックは魚を食べることで人体にも蓄積されている。

平家ノ森

奈良川

西川

西川川

追いはぎ峠

塩の道

左谷相

拓

舞川とは本流の流れとは逆の方向に流れる河川。
香北美術 舞川を源流域として、物部川とは逆方向に21kmも北流する川。

舞川

熊王山

塩の道
香南市香我見駅～吉川町の海辺は塩の生産地で、赤岡には塩市が開かれていた。塩を山間部へ馬の背に塩や物資を積んで往来していた道。

山を歩いている時にゴミを一つでも拾うことで山の神がよろこぶ。
逆にゴミをポイ捨てすることで良心までも捨ててしまうことになる

今、地球上で生物多様性の消失が深刻な速度で続いている。
このままのペースで生物や生態系の消失が続けば、人も動物も植物もあらゆる生物の子孫の未来が危うくなっている。
気候変動、温暖化、森林伐採、乱開発、乱獲、化学物質、原子力…
今、自分たちが一人ひとりの生き方が次の世代にたきな影響を与えている。

二度とない人生だから
一匹のこおろぎでも
ふみつぶさないように
心してゆこう
どんなにかよろこぶ
ことだろう
坂村真民の詩

雨の日、山の尾根には水のこどもたちがうまれる。

水のこどもたち みくまりちゃん。

みくまりの神(水分神)
日本神話で、水の配分をつかさどる神

天高く枝葉を伸ばす巨樹に宿るとされるその神々しさについうまれる

豊かなブナ林 手つかずの原生林。水を保つ腐葉土が厚く積もっている。

奥神賀山

御在所山～神賀～高板山はほぼ一直線上に位置している。
安徳天皇と平家落人の人々にまつわる多くの伝説がつながっている。

西塁山

中津山 香北町最高峰

高板山

安徳天皇御陵伝説のある山

木を植えることは未来と平和を植えること。

大屋山(大越山)

豊永往還があった香北

物部

豊永往還があったが今はすたれてしまった

戦後復興で荒廃した日本の山を緑でうめつくした植林事業は、ピラミッドや万里の長城にも匹敵する日本人が行なった大偉業。

神賀神社～奥神賀
17の祭り場があるが、神社はわからなくなっている

ニホンジカの増加が大きな問題となっている。
ナワバリを持たず群れで行動し、草から木の皮、農作物まで被害をおよぼしている。

豊かな森から清流、物部川へ。
そして海へ。
緑を育てる語りべる山仕事。

松尾峠

谷相山

さわやかな山の風に吹かれて木々が揺れる

今の私たちの体内時計はさびついているなぁ…

大荒の滝

日本の滝100選に選ばれている。落差82m。三段に流れ落ちる瀑布

神賀山

才谷

神賀神社

樋佐古川

自然のバランスがひとつでも崩れると、とり返しのつかない破綻が広がるという歴史からの警鐘にも思える。

神池

神賀山のふもとには本社まで行く道路が設けられている

香北と物部の境
よさこい節の純情、お馬が歴の北歴行

特異な山の形で、どこからでも識別できる

御在所山
平家の落人が安徳天皇を奉じて隠れ住んだといわれ、多くの伝説が伝わる。
山頂には建御山神社が祀られており、天皇お付きの147名の墓もある。

大屋敷

日比原川

八京峠

猪野々

本殿の扉には天皇家の紋章が施されている

永瀬ダム～杉田ダムの河岸段丘地形が続き、香北特有の のどかで、穏やかな景観が広がる。

久保川

梅久保

大比比山

上韮生川

永瀬ダム

大栃

塩

山北荷

杉田ダム

2021.10.5
No.114